

# 市議会だより



## 公共施設のあり方検討 特別委員会行政視察

(平成27年10月1日～2日)



## 並行在来線等問題 特別委員会行政視察

(平成27年9月28日～29日)

### 平成27年12月定例会一覧

<p>○議案の審議結果</p> <p>予算(原案可決) 2件          条例(原案可決) 1件          条例(修正案・原案否決) 4件          その他(原案可決) 1件          他(原案認定) 1件          願(趣旨採択) 1件          願(趣旨採択) 1件          陳情(原案同意) 2件          人陳請計 24件</p>	<p>○委員会の審議結果</p> <p>4・16          15          14          18          日          日          日          日</p> <p>議会議務運営委員会          総務文教委員会          民生環境委員会          産業建設委員会</p>	<p>181110          日          日          日</p> <p>提案理由説明          代表質問・一般質問          一般質問・議案の委員会付託          委員長報告・質疑・討論・採決          追加提案          提案理由説明・採決          閉会中の継続審査</p>	<p>○本会議(主な内容)</p> <p>4日 開会          12月18日 閉会          12月4日 開会          18日 閉会          15日間 会期</p> <p>会期の決定          民生環境委員会委員長報告          決算特別委員会委員長報告          質疑・討論・採決          議長選挙・副議長選挙          議会運営委員会委員長の選任          常任委員会委員長の選任          議会報編集委員会委員長の選任          並行在来線等問題特別委員会          公共施設のあり方検討特別委員会          特別委員会の設置及び委員の選任          富山地区広域圏事務組合議会          議員・滑川中新川地区広域情報          事務組合議会議員・富山県東部          消防組合議会議員の補欠選挙          農業委員会委員の推薦          各種委員並びに理事の推薦          議会改革検討特別委員会委員の          各委員会の正副委員長長の互選の          結果報告</p>
---	--	---	---

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は3月です。

## ◆ 砂利採取業の規制等に関する条例を否決

## ◆ 議会構成を一新

## ◆ 観光問題・交通アクセス等検討特別委員会を設置

北陸新幹線開業後、滑川市の観光の今後のあり方を検討し、それに伴う交通アクセス並びに高齢化社会にも対応した再構築を検討



古沢副議長



中島議長

議長に 中島 勲氏  
副議長に 古沢利之氏

## 本会議

## 12月定例会

市議会12月定例会は、12月4日から18日までの15日間の会期で開催されました。

審議した案件は、継続審査となっていた「滑川市砂利採取業の規制等に関する条例の制定について」、「請願第1号・第2号、陳情」、「平成26年度滑川市一般会計歳入歳出決算認定について外8件」、また、平成27年度一般会計補正予算をはじめとする予算関係及び条例等の市長提出議案10件（追加議案2件を含む）、閉会中の継続審査の合計24件です。

審議の結果、継続審査の条例は否決、請願第1号・陳情は趣旨採択、請願第2号は採択、決算認定について外8件は、認定または可決されました。市長提出議案の10件、閉会中の継続審査につきましても原案どおり可決及び同意されました。

◇12月4日に本会議を開き、まず会期を18日までの15日間と決めました。はじめに、9月定例会から継続となっていた案件について採決を行いました。

民生環境委員会の委員長報告を受け、「滑川市砂利採取業の規制等に関する条例の制定について」を否決し、砂利採取に関する請願第1号と陳情第1号については趣旨採択、請願第2号については採択とすることに決定しました。

また、決算特別委員会の委員長報告を受け、「平成26年度滑川市一般会計歳入歳出決算認定について」から「平成26年度滑川市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について」までの9議案を認定または可決しました。

その後、議長の選挙、副議長の選

挙を行い、続いて議会運営委員会委員の選任、各常任委員会委員の選任、議会報編集委員会委員の選任、並行在来線等問題特別委員会の廃止、公共施設のあり方検討特別委員会の廃止、次に観光問題・交通アクセス等検討特別委員会の設置を決め、委員の選任を行いました。その後、富山地区広域圏事務組合議会議員・滑川中新川地区広域情報事務組合議会議員・富山県東部消防組合議会議員の補欠選挙、農業委員会委員の推薦、各種委員並びに理事の推薦、議会改革検討特別委員会委員の選任、各委員会の正副委員長の互選の結果報告が行われた後、魚津市鹿熊地内の養鶏場建設検討特別委員会の2名の辞職願を許可した旨の報告がありました。

引き続き、平成27年度一般会計補正予算をはじめとした予算及び条例の市長提出議案8件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長から議案の補足説明がありました。

◇10日、11日は代表質問及び一般質問が行われ、11名の議員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する質疑を行いました。

質疑終了後に市長提出議案を所管の各委員会へ付託しました。

### 新しい議会構成

◆最終日の18日には本会議を再開し、総務文教・民生環境・産業建設の各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告があり、採決の結果いずれも委員長の報告のとおり賛成全員で可決されました。

その後、市長から人事案件として、滑川市監査委員の委員に高橋久光氏の選任、滑川市固定資産評価審査委員会の委員に大浦進氏（田中新町）の選任が追加提案され、いずれも同意といたしました。

最後に閉会中の継続審査を決定して、12月定例会を閉会としました。

（◎委員長、○副委員長）

- ◆議会運営委員会
  - ◎岩城 晶巳 ○水野 達夫
  - 角川 真人 竹原 正人
  - 浦田 竹昭 中川 勲
- ◆総務文教委員会
  - ◎浦田 竹昭 ○尾崎 照雄
  - 青山 幸生 竹原 正人
  - 水野 達夫 高木 悦子
  - 岩城 晶巳 中島 勲
  - 古沢 利之 中川 勲
- ◆民生環境委員会
  - ◎開田 晃江 ○青山 幸生
  - 角川 真人 谷川 伸治
  - 水野 達夫 原 明
  - 岩城 晶巳 古沢 利之
  - 浦田 竹昭 高橋 久光

- ◆産業建設委員会
  - ◎中川 勲 ○竹原 正人
  - 角川 真人 尾崎 照雄
  - 谷川 伸治 高木 悦子
  - 原 明 中島 勲
  - 開田 晃江 高橋 久光
- ◆観光問題・交通アクセス等検討特別委員会
  - ◎高橋 久光 ○浦田 竹昭
  - 角川 真人 竹原 正人
  - 尾崎 照雄 中島 勲
  - 開田 晃江 久光
- ◆議会改革検討特別委員会
  - ◎古沢 利之 ○中川 勲
  - 青山 幸生 谷川 伸治
  - 水野 達夫 高木 悦子
  - 岩城 晶巳 岩城 晶巳
- ◆魚津市鹿熊地内の養鶏場建設検討特別委員会
  - ◎中島 勲 ○古沢 利之
  - 青山 幸生 角川 真人
  - 竹原 正人 尾崎 照雄
  - 水野 達夫 原 明
  - 岩城 晶巳 開田 晃江
  - 中川 勲 高橋 久光
- ◆議会報編集委員会
  - ◎谷川 伸治 ○原 明
  - 青山 幸生 角川 真人
  - 開田 晃江 中川 勲
- ◆滑川市監査委員
  - 高橋 久光
- ◆各組合議会議員
  - ・富山地区広域圏事務組合 岩城 晶巳 中島 勲
  - ・滑川中新川地区広域情報事務組合 原 明 角川 真人

- ◆富山県東部消防組合 中島 勲
- ◆水野 達夫
- ◆浦田 竹昭
- ◆各種委員
- ◆滑川市農業委員会 原 明
- ◆民生委員推薦会委員 開田 晃江
- ◆青山 幸生
- ◆都市計画審議会委員 浦田 竹昭 開田 晃江
- ◆中川 勲

### 日誌

- 27年11月
  - 2日 富山県市議会議長会議員 研修会（富山市）
  - 5日 議会改革検討特別委員会 協議会
  - 6日 産業建設委員会協議会
  - 9日 議会運営委員会協議会 公共施設のあり方検討特別委員会
  - 10日 定例議員協議会 民生環境委員会 全国市議会議長会 評議委員会（東京都）
  - 11日 決算特別委員会
  - 12日 決算特別委員会
  - 13日 決算特別委員会
  - 16日 富山地区広域圏事務組合 行政視察（埼玉県）
  - 17日 富島大学研修会（福島県）
  - 17日 全国市議会議長会
  - 18日 研究フォーラム（福島県）
  - 24日 決算特別委員会・講評
  - 27日 長崎県五島市より行政視察 議会運営委員会 並行在来線等問題 特別委員会

### 一代表質問

12月定例会では11名の議員が質問を行い、38項目について市当局の見解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

（すべての質問等詳細を記録した会議録は、3月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定です。）

※質問者の最後のQは、掲載外の質問事項です。

- 28年1月
  - 8日 議会運営委員会協議会 定例議員協議会 議会改革検討特別委員会 協議会
  - 15日 総務文教委員会協議会 協議会 全員協議会
  - 21日 議会報編集委員会
  - 22日 議会報編集委員会
  - 24日 富山県東部消防組合協議会 議員協議会・全員協議会・臨時会（魚津市）
  - 28日 富山県東部消防組合協議会 議員協議会・全員協議会
  - 30日 民生環境委員会

### 代表質問



5 4 3 2 1

新・児童館並びに子ども図書館の運営について  
地域連携に繋がる土曜授業への転換について  
事故対応において開かれた学校・教育委員会となっているか  
定住促進住宅の空室について  
市有地の活用について  
(会派 自民クラブ)

高木悦子議員

**Q** 新しい児童館の開館予定日、開館時間、定休日

はどうなるか。職員の配置・確保はできているか。

**A** 嶋川教育次長 工期が3月末で、すべて検討中。

**Q** 子どもを預かる施設なので職員の教育期間も必要だ。非常に不安に思う。

**A** 嶋川教育次長 ある程度設備ができないと研修できないところもあり、早急に対応していきたい。

**Q** 国が補助する学校支援地域本部、あるいは学校活動を支援する地域コーディネーターの配置など、学校と地域を結びつける組織づくりは考えないか。

**A** 伊東教育長 お金の面人的面で有利ならば、研究を重ねていきたい。

**Q** 貧困の負の連鎖を断ち切るため、放課後学習支援や子ども教室を土曜学

習という形で行えないか。

**A** 伊東教育長 国の制度化も進められており、学習支援員も含めて充実して、子どもたちが少しでもわかるように努めたい。

**Q** 調理実習中の入院を伴うやけど事故をなぜ公表しなかったのか。

**A** 嶋川教育次長 県教委、PTA、3〜5月の教育委員会に報告した。

**Q** 市長が話を聞いた時点で議会に報告しようと考えなかったのか。

**A** 上田市長 私の怠りだ。

**Q** 表沙汰にしたくないとの意識が、救急車の要請など誤った判断に結びつく危険性があるのではないか。事故状況は原則公表すべきではないか。

**A** 嶋川教育次長 原則公開で、状況の共有を行い未然防止につなげたい。

**Q** 定住促進住宅の吾妻・北野の過半数が空室だ。家賃を引き下げる必要性もあるのではないか。

**A** 長井建設部長 4階5階の家賃を低く設定する事例など今後研究したい。

**Q** 市内の不動産業者やインターネットの情報サイトを活用してはどうか。

**A** 長井建設部長 当然していかなければならないと考える。

**Q** 農協会館跡地と駅前団地跡地の今後の計画は、どのような組織で、どう検討していくのか。

**A** 石川副市長 まず庁内で検討していきたい。

**Q** 決まってから、議会に賛成か反対かという形ではなく、白紙の状態から議会を含めて話をする機会を設けられたい。

**A** 石川副市長 決まってから、議会に賛成か反対かという形ではなく、白紙の状態から議会を含めて話をする機会を設けられたい。

**A** 嶋川教育次長 原則公開で、状況の共有を行い未然防止につなげたい。

### 代表質問



4 3 2 1

TPP「大筋合意」について  
日本海地震・津波調査について  
市民の健康づくりについて  
松くい虫対策について  
(会派 日本共産党議員団)

古沢利之議員

**Q** 国会決議は、農産物の重要5品目を交渉しないよう求めていた。今回の「合意」は国会決議に反する。改めて市長の見解を求める。

**A** 上田市長 合意されたことには啞然とした。これから政府がどう対応するのか気になっている。TPPに反対の立場は今も変わらない。

**Q** 新聞社のアンケートでは「回答なし」となっていた。当然「反対」と回答すべきだ。啞然として言葉が見つからなかったということか。

**A** 上田市長 そうだ。あなたの思いはよくわかってる。

**Q** 報道によると文部科学省の日本海地震・津波調査プロジェクトの調査で、入善沖・能登半島東沖の

**A** 確井産業民生部長 協会けんぽのデータは、働きざかり世代のデータであり、この年代層の健康課題を知る手がかりになる。協会けんぽ担当者との協力をもち、来年2月ごろの協定締結を目標に調整している。

**A** 確井産業民生部長 被害木の伐倒処理は、県の協力も得て進められてきたが、その後も被害がみられる。今後の対応はどうか。また伐倒の結果、保安林としての機能が大きく損なわれている。機能回復に取り組む必要があると思うがどうするか。

2力所で活断層が見つかった。防災計画の見直しにどう対応するのか。

**A** 杉田総務部長 10月によるやく内容の一部が公表された。県もこの内容を加味して、津波浸水想定図を作成される予定と聞いている。その結果を受けて地域防災計画の修正、ハザードマップの見直しを予定している。

**Q** 砺波市と協会けんぽ富山支部が、健康づくり包括協定を締結し、健診・医療費データを共同分析し健康対策に取り組みという。全国でも連携協定が進んでいる。滑川市での連携はどうなっているのか。

**A** 確井産業民生部長 被害木の伐倒処理は今後も県に要望する。保安林の機能維持のためには、伐倒後の植樹が必要と考えている。地元からの要望があれば、県単治山事業を活用し、植栽と保育について対応できると聞いている。

**Q** 報道によると文部科学省の日本海地震・津波調査プロジェクトの調査で、入善沖・能登半島東沖の

**A** 確井産業民生部長 協会けんぽのデータは、働きざかり世代のデータであり、この年代層の健康課題を知る手がかりになる。協会けんぽ担当者との協力をもち、来年2月ごろの協定締結を目標に調整している。

**A** 確井産業民生部長 被害木の伐倒処理は今後も県に要望する。保安林の機能維持のためには、伐倒後の植樹が必要と考えている。地元からの要望があれば、県単治山事業を活用し、植栽と保育について対応できると聞いている。

一般質問



竹原 正人 議員

1 滑川市ひと・まち・産業創生総合戦略について  
2 子どもたちの学力・体力の向上について

Qさまざまな課題、社会  
ニーズ等があるが、滑川  
市として人口減社会にど  
う取り組んでいくのか。

A 縣名企画政策課長 滑川  
市人口ビジョンにおいて、  
平成72年(2060年)の  
将来人口目標を3万人に  
設定した。この滑川創生  
の実現のため、全ての施  
策が人口減対策を目的と  
した滑川市ひと・まち・  
産業創生戦略を策定し、  
今後5年間で取り組むべ  
き具体的施策を示したと  
ころである。

Q多世帯同居、近居住ま  
いの推進について、内容  
と見込まれる効果は。

A 砂田予也課長 近年、  
共働き家庭の増加、核家  
族化の進行により、家庭  
での保育力が低下してい  
る。子どもを安心して産  
み育て、高齢者が安心し

て暮らすことのできる良  
好な住宅環境の創出など、  
支援について今後検討し  
ていく。

Q新幹線の車窓から見え  
る滑川らしい観光看板の  
設置についての現在の見  
解と、景観を楽しむため  
広い面積で菜の花やチュウ  
リップを栽培するなどの  
事業はできないか。

A 碓井産業民生部長 設置  
場所について、東京から  
富山に向かう列車の車窓  
から見ると3力所ぐらい  
ベストポイントがあると  
考える。大きさ、内容、  
デザインについて新幹線  
からの距離を考えると相  
当大きなものになると想  
定している。電飾につい  
ても検討しているが、か  
なりの額が必要になるの  
で検討したい。また、車  
窓から見える田んぼの景

観について、非常によい  
アイデアであるので、検  
討したい。

Q本年度の土曜学習モデ  
ル事業についての検証、  
保護者向けのアンケート  
をどのように反映してい  
くのか。

A 上島学務課長 これまで  
に小学校で5回、中学校  
で4回実施した。現在ア  
ンケートを児童・生徒と  
保護者に実施していると  
ころであり、来年度この  
アンケート結果を参考に  
計画を立てたい。

Q学校部活動における外  
部コーチや支援員の拡充  
についてどう考えている  
のか。

A 上田スポーツ課長 中学  
校運動部活動において、  
県のスポーツエキスパー  
ト派遣事業を活用し、今  
後も支援していきたい。

Q岩城建設課長 騒音・振  
動等の苦情・相談につい  
ては、開業から4件寄せ  
られており、事業主体で  
ある鉄道運輸機構へ伝え  
対応している。

Q環境省の騒音・振動測  
定の実施について。

A 岩城建設課長 環境省の  
調査については9月上旬  
に滑川市内5地点で調査  
されたと聞いている。

Q北加積小学校での調理  
実習を見学しての感想で  
あるが、理科室での実習  
のため、実験で使った薬  
品がテーブルに残ってい  
たら、食材が薬品に触れ  
る危険性が非常に高い。  
実験用テーブルのため、  
高さが低く、まな板で材  
料を切るときは、腰を曲

げて包丁を使うので危険  
性が高い。また、調理用  
のガスコンロについては、  
理科実験台にはガス栓が  
ないため、コンロが一部  
に集中するために熱い調  
理器具による火傷などの  
危険性が高い中で調理実  
習が行われているのが現  
状である。

1 北陸新幹線による騒音と振動被害等について  
2 教育の向上について



原 明 議員

Q校内電話が設置されて  
いない小中学校は何校あ  
るのか。

A 伊東教育長 各小中学  
校では、固定電話やPH  
Sにより、全ての教室に  
設置されている学校が6  
校であり、保健室や相談  
室など一部に設置されて  
いる学校が2校あり、未  
設置は1校のみである。

Q校内電話が未設置の小  
学校は北加積小学校であ  
るが、一日も早い整備を。  
A 伊東教育長 校内電話  
については、緊急時の対  
応や防犯上の観点からも  
有用であると認識してお  
り検討してまいりたい。

その他の質問  
Q(仮称)滑川駅前整備事業  
の用地取得後の利用・整備  
計画について  
Q農業の振興について

Q伊東教育長 北加積小  
学校については、新耐震  
基準で建築されているこ  
とから、大規模改修の機  
会がなく、要望や不具合  
の度に整備を進めてきた  
ところであり、家庭科教  
室の整備については、学  
校と協議し進めている。  
教室の転用も含め学校と

一般質問



5 4 3 2 1

東福寺野自然公園の活用計画について  
みのお温泉の活用計画について  
有害鳥獣被害の防止対策について  
耕作放棄地の解消対策について  
防犯カメラの設置について

浦田 竹昭 議員

Q みのお温泉の活用計画の進捗、並びに施設全体の見直しについて見解を問う。

A 上田スポーツ課長 利用計画は、昨年度実施した利用者アンケートの結果により検討委員会でも協議しているところである。

施設の見直しは、辺地債を活用した総合整備計画の策定を検討したい。

また、エレベーターの設置については、来年度予算に予算要求をしていきたいと考えている。

Q 東福寺野自然公園の活用計画策定の必要性、並びに施設整備の見直しについて、見解を問う。

A 川岸公園緑地課長 施設老朽化に伴う研修棟の耐震化など早急な対応を求められており、総合的な活用計画の策定が必要

であると考えている。東福寺野自然公園研修センター整備検討委員会のなかで、青雲閣を含めた全体的な配置などについて、施設整備の見直しを進めている。

Q 有害鳥獣被害の防止対策の現状、並びに今後の防止対策について、見解を問う。

A 片岡農林課長 現在、職員による追い払いや、捕獲隊の協力を得て捕獲檻の設置や銃器による捕獲の実施とともに、電気柵の整備を進めている。

今後は、捕獲隊だけでなく、地域住民の方々と連携して対応するとともに、有害鳥獣の出没状況を勘案しながら捕獲檻を増設していく。

Q 耕作放棄地の現状、並びに今後の耕作放棄地の

解消対策について、見解を問う。

A 片岡農林課長 耕作放棄地を把握するため、農業委員会の皆様方が、農地パトロールを実施したところであり、今後は、引き続きパトロールの実施や指導等に努め、農地中間管理機構や有害鳥獣対策等、様々な施策を実施していく。

Q 防犯カメラ設置の現状と今後の設置予定について、見解を問う。

A 黒川生活環境課長 現在、屋外監視用防犯カメラ、また施設の屋内用の監視カメラを設置しており、今後の防犯カメラについては、警察署など関係機関と協議のうえ、必要性が認められる箇所について検討していきたい。

Q 小学校の集団下校の取り組みは。

A 上島学務課長 同じ時間に下校する児童が同じ地域の児童と一緒に下校する形をとっている。

Q 下校時の施錠は誰がどのようにしているか。

A 上島学務課長 低学年が下校した後から、高学年が帰るまでの時間に施錠する人を決め、施錠するよう注意喚起していく。

Q 救急車を呼ぶマニュアルを学校に配布してあるか。

A 上島学務課長 統一したマニュアルを配布し、「けがが発生時の行動計画」、「事故発生時における具体的措置の基本方針」に救急車を呼び医療機関での緊急な措置が必要となる判断基準を設定している。

Q マニュアルを教室のどこに掲示するのか、体育館や学校の中でどうやって知らせるか、このほうがもっと大事では。

A 上島学務課長 職員室内や、学校内このようにものの基準の掲示なども検討していきたい。

Q 2人体制で過去の校長経験者をアドバイザーというポストを設けて派遣しては。

A 上島学務課長 市で採用できるか検討していかなければならない部分である。

Q 現在、どの程度の交流人口がどのルートで滑川へ入っているのか。

A 網谷商工水産課長 平成26年では30万8千人、交通手段は、高速道路滑川インターや国道8号からのルートの利用者が多いと考えている。

Q 国道8号が今年度完成見込みで、稲泉交差点は滑川市の顔としての交差点になるのでは。市の観光・産業・歴史・文化の情報発信する交通拠点と位置づけ、整備しては。

A 上田市長 滑川のその部分であり、これからの部分的にこの国道8号が生かされてくる。幹線の上での道の駅は、期待が大きい。深く検討して臨んでいきたい。

Q ふるさと納税の額はどのように推移しているか。

A 藤名企画政策課長 最初の4年間は120万円前後、その後400万円台、返礼品を始めた効果もあり、平成27年度は、11月末の時点で457件、約1千100万円と件数は昨年度の9倍、金額も2倍以上になっている。

一般質問



3 2 1

学校の安全対策について  
まちの活性化について  
ふるさと納税について

開田 晃江 議員

Q 国道8号が今年度完成見込みで、稲泉交差点は滑川市の顔としての交差点になるのでは。市の観光・産業・歴史・文化の情報発信する交通拠点と位置づけ、整備しては。

A 上田市長 滑川のその部分であり、これからの部分的にこの国道8号が生かされてくる。幹線の上での道の駅は、期待が大きい。深く検討して臨んでいきたい。

Q 国道8号が今年度完成見込みで、稲泉交差点は滑川市の顔としての交差点になるのでは。市の観光・産業・歴史・文化の情報発信する交通拠点と位置づけ、整備しては。

Q 国道8号が今年度完成見込みで、稲泉交差点は滑川市の顔としての交差点になるのでは。市の観光・産業・歴史・文化の情報発信する交通拠点と位置づけ、整備しては。

A 上田市長 滑川のその部分であり、これからの部分的にこの国道8号が生かされてくる。幹線の上での道の駅は、期待が大きい。深く検討して臨んでいきたい。

Q 国道8号が今年度完成見込みで、稲泉交差点は滑川市の顔としての交差点になるのでは。市の観光・産業・歴史・文化の情報発信する交通拠点と位置づけ、整備しては。

A 上田市長 滑川のその部分であり、これからの部分的にこの国道8号が生かされてくる。幹線の上での道の駅は、期待が大きい。深く検討して臨んでいきたい。

Q 国道8号が今年度完成見込みで、稲泉交差点は滑川市の顔としての交差点になるのでは。市の観光・産業・歴史・文化の情報発信する交通拠点と位置づけ、整備しては。

A 上田市長 滑川のその部分であり、これからの部分的にこの国道8号が生かされてくる。幹線の上での道の駅は、期待が大きい。深く検討して臨んでいきたい。

Q 国道8号が今年度完成見込みで、稲泉交差点は滑川市の顔としての交差点になるのでは。市の観光・産業・歴史・文化の情報発信する交通拠点と位置づけ、整備しては。

Q 国道8号が今年度完成見込みで、稲泉交差点は滑川市の顔としての交差点になるのでは。市の観光・産業・歴史・文化の情報発信する交通拠点と位置づけ、整備しては。

A 上田市長 滑川のその部分であり、これからの部分的にこの国道8号が生かされてくる。幹線の上での道の駅は、期待が大きい。深く検討して臨んでいきたい。

Q 国道8号が今年度完成見込みで、稲泉交差点は滑川市の顔としての交差点になるのでは。市の観光・産業・歴史・文化の情報発信する交通拠点と位置づけ、整備しては。

A 上田市長 滑川のその部分であり、これからの部分的にこの国道8号が生かされてくる。幹線の上での道の駅は、期待が大きい。深く検討して臨んでいきたい。

Q 国道8号が今年度完成見込みで、稲泉交差点は滑川市の顔としての交差点になるのでは。市の観光・産業・歴史・文化の情報発信する交通拠点と位置づけ、整備しては。

A 上田市長 滑川のその部分であり、これからの部分的にこの国道8号が生かされてくる。幹線の上での道の駅は、期待が大きい。深く検討して臨んでいきたい。

Q 国道8号が今年度完成見込みで、稲泉交差点は滑川市の顔としての交差点になるのでは。市の観光・産業・歴史・文化の情報発信する交通拠点と位置づけ、整備しては。

一般質問



4 3 2 1

中滑川駅周辺の整備計画について  
道の駅周辺の今後の方向性について  
中小企業の支援について  
職員の採用計画について

水野 達 夫 議員

Q 中滑川駅周辺の整備計画は公共施設を核とした整備計画になるのか、それとも民間の力をお借りした整備計画になるのか、現時点での市の見解はどうか。

A 児島まちづくり課長 整備予定の施設等は現段階では確定していないが、民間の力をお借りした手法についても検討しなければならない。



12月議会において滑川市が先行取得した中滑川駅周辺敷地

Q 中滑川駅前広場も含めて「環状交差点」の導入ができるか。

A 児島まちづくり課長 近隣の設置事例等も踏まえ、

当地区での導入について調査研究してまいりたい。

Q 観光客等交流人口を増大するには、観光船を以前の2隻体制に戻すべきだと思っている。現時点での市の見解はどうか。

A 網谷商工水産課長 これまでの観光船を操縦する船長の手配が難しいこと、不定期航路の申請を変更するための時間がないことを踏まえて、来シーズンにおいては2隻体制を見送るという結論に至った。

Q 海洋深層水の活用として、例えば水産振興補助金制度等を定める考えはないか。

A 網谷商工水産課長 水産分野について、今後、企業等の動向など情報収集に努めて、進出の動きがあれば支援について検討

してまいりたい。

Q 中小企業への支援策として、魚津市や入善町で実施されている新規創業や経営革新に対する補助制度等を設けることはできないか。

A 網谷商工水産課長 市では、既存の県の制度を広くPRするとともに、今後、新規創業者や中小企業者を支援するために、本市独自の補助制度の創設を考えてまいりたい。

Q 適正な職員数に対する市の見解はどうか。

A 膳尾総務課長 職員数については、組織や人員の効率化に主眼を置き、中長期的な視点に立つたうえで、業務の執行に必要な職員数となるよう計画的な人員確保に努めてまいりたい。

一般質問



2 1

安心・安全なまちづくりについて  
人口増加に向けて

青山 幸 生 議員

Q 救急医療情報キットの活用状況はどうか。

A 濱谷消防署長 ひとり暮らし高齢者の方への救急活動を実施するうえで、救急医療情報キットにより、かかりつけ病院や既往歴を確認することができ、

Q 活用に関してあまり積極的ではないという意見もあるが対応はどうか。

A 濱谷消防署長 市民が万が一ひとりで意識がないといった状況の現場では、非常に有効ということで、隊員一同、医療情報キットがあるということを確認して今後も活動したい。

Q 平成27年6月定例会で5段階の避難指示表を提案したが、その後の進捗はどうか。

A 膳尾総務課長 議員提案の5段階のレベル表示に

ついては、インパクトがある。次回の防災計画の改定時に取り入れたい。

Q 平成26年12月定例会で人口増加について四つの提案をしたが、その後の進捗状況はどうか。

A 藤名企画政策課長 議員提案の四つの提案について、まず一つ目の婚姻届け時に渡す育児経費節約術の冊子については、ネウボラのガイド冊子を作成予定であり、議員提案の内容も考慮しながら、平成28年度からの配布を目指し作成を進めている。二つ目の成人式における子ども第一主義のまちの冊子は「成人のしおり」の中に「子育てするなら滑川」のコーナーで記載している。三つ目の母子手帳入手時のグッズ等については、既にガーゼや

セーフティサインを配布しており、新たなものは配布していない。四つ目の子ども服のリサイクルについては、社会福祉協議会において、平成22年度から子ども用品限定フリーマーケットを毎年開催している。

Q 成人のしおりから別紙で一枚出せないか。

A 藤名企画政策課長 早速、教育委員会と協議して検討したい。

Q 第3子保育料無料も県全域になり差別化がなくなった。新たに24歳以下の女性が出産した場合に、ヤングママ応援券など特典はどうか。

A 藤名企画政策課長 即答はできないが、今後関係課と検討したい。その他の質問 Q タラソピアについて

一般質問



谷川 伸治 議員

1 タラソピアの今後のあり方について  
2 地区公民館の活用について

Q 公共施設のあり方検討特別委員会でタラソピアの廃止を提言したが、今後タラソピアをどのようにしていくのか。

A 藤田福祉介護課長 多くの市民の方から、健康福祉面でより一層の活用を求め署名が提出されたので、今後一、二年の間で、市民に親しまれるよう、新たに専門職を配置するなどソフト面を充実したい。

Q 現在のタラソピアは、数多くのゾーンがあるが、介護予防や健康増進に結びつく整備に限定・特化したコンパクトな施設として新たに建設することはできないか。

A 藤田福祉介護課長 建設には多額の予算を要することから、現時点では難しいと考えている。

Q 塩害で傷んでいるところを修復するより、コンパクトで必要最小限の設備を有した施設としての再スタートがいいのではないかと、維持費を考えると数年後、そのほうが有利であると考えている。

A 藤田福祉介護課長 高齢化社会の中で、介護予防、健康増進といった面で、既存の施設を活用して取り組みたいと考えている。タラソピアは現時点で利用可能であり、今後については市長が総合的に判断する。

Q 放課後児童クラブは、今後とも地区公民館を活用していくのか。

A 砂田子ども課長 現在9つの公設民営の放課後児童クラブがあり、その中の6つのクラブが地区公民館で実施。支障ない限り、今後とも地区公民館を利用したいと考えている。

A 砂田子ども課長 学校と地区公民館が離れている児童は、毎回参加することは難しい状況である。

Q 今後、少子化で児童数が減り空き教室が増える学校も出てくる。放課後児童クラブを学校の空き教室等で行うよう検討すべき時期にきているのではないかと。

A 砂田子ども課長 空き教室の活用は、移動という観点から、安心・安全な居場所として最適。学校で実施する場合の運営面や施設整備面をこれから考えて、学校と協力し検討していきたい。

Q 放課後育成クラブの児童は放課後子ども教室に参加できているのか。

A 砂田子ども課長 学校と地区公民館が離れている児童は、毎回参加することは難しい状況である。

Q 子育て世代包括支援センターの設置についての考えを問う。

A 砂田子ども課長 現在、母子保健、子ども行政、生活支援のための部署が総合的な支援を行っており、今まで以上に連携を強化していかなくてはならないと考える。今後の支援体制については、子育て世代包括支援センターの設置を含めて、連携、人員体制等、本市にふさわしい相談の場について検討していきたい。

Q 市長のいう子ども第一主義について見解を問う。

A 上田市長 子どもの環境、子どもが育つ、伸び伸びと健やかに育つてくれる環境を整えていきたい。

Q 理科室で調理実習を行っている小学校は市内で2校あるが、子ども第一主義を唱える市長、食育は教育の基本であるという教育長のもとで、一刻も早く改善すべきではないか。

A 上島学務課長 北加積小学校については、ほかの教室の転用について学校と協議し検討したい。

Q 北加積小学校の調理場の実現を、来年度の予算に計上するのか。

A 上島学務課長 計上できるように計画を立てていきたい。

Q 高塚海岸に寄り回り波対策としての消波ブロックの設置をさらにすすめていく必要があるのではないかと。

A 岩城建設課長 県では、高塚周辺の海岸施設について越波を減少させるなどの対策工事が平成22年度までに終わっており、現時点では離岸堤を増やすなど消波ブロックの設置等は予定されていない。市として、引き続き海岸保全対策について国、県に働きかけていきたい。

一般質問



尾崎 照雄 議員

1 子育て支援について  
2 教育環境について  
3 防災について

Q 滑川版ネウボラについて、妊娠・出産・育児までの切れ目ない相談窓口のワンストップ化を目指すというものであるが、現在までの進捗状況は。

A 砂田子ども課長 厚生労働省のモデル事業を実施した埼玉県和光市を8月に視察した。視察内容を踏まえて、滑川市で実施していく事業について、母子保健、保育現場、子育て行政の立場から協議し、来年度事業をスタートできるよう、実施内容や予算等について検討している。

Q 子育て世代包括支援センターの設置についての考えを問う。

A 砂田子ども課長 現在、母子保健、子ども行政、生活支援のための部署が総合的な支援を行っており、今まで以上に連携を強化していかなくてはならないと考える。今後の支援体制については、子育て世代包括支援センターの設置を含めて、連携、人員体制等、本市にふさわしい相談の場について検討していきたい。

Q 市長のいう子ども第一主義について見解を問う。

A 上田市長 子どもの環境、子どもが育つ、伸び伸びと健やかに育つてくれる環境を整えていきたい。

Q 理科室で調理実習を行っている小学校は市内で2校あるが、子ども第一主義を唱える市長、食育は教育の基本であるという教育長のもとで、一刻も早く改善すべきではないか。

A 上島学務課長 北加積小学校については、ほかの教室の転用について学校と協議し検討したい。

Q 北加積小学校の調理場の実現を、来年度の予算に計上するのか。

A 上島学務課長 計上できるように計画を立てていきたい。

Q 高塚海岸に寄り回り波対策としての消波ブロックの設置をさらにすすめていく必要があるのではないかと。

A 岩城建設課長 県では、高塚周辺の海岸施設について越波を減少させるなどの対策工事が平成22年度までに終わっており、現時点では離岸堤を増やすなど消波ブロックの設置等は予定されていない。市として、引き続き海岸保全対策について国、県に働きかけていきたい。

### 一般質問



3 2 1

#### 介護保険について 交通安全について 買い物対策について

角川 真人 議員

**Q** 介護報酬の削減により市内の介護事業所にどのような影響があったのか把握しているか。

**A** 藤田福祉介護課長 介護報酬の改定による影響は

厳しい内容だと聞いているが、詳細な実態の把握には至っていない。安定的な運営水準が確保されているか経営状況を注視していく。

**Q** 早期にほたるいかミュージアムの方へ行くといつも明かりの不足を感じて。ウォーキングをしている人が見えなくて危険なので、歩道に人がいるのがわかる程度でも明るくなる対策はとれないか。

**A** 岩城建設課長 はまなす公園付近の街灯の設置状況は、県道や市道など周辺道路の交差点やカーブなど交通安全上必要な箇

所に設置されている。はまなす公園周辺の明かりが足りないという話は、管理者である公園緑地課と調整し、街灯の必要性について見極めていく。

**Q** まちの中のスーパーや小さな商店が店を閉めてしまい、買い物難民がまちの中でも増えている。高齢者だけの家も多く車が使えないといったケースも多い。移動販売を検討してはどうか。

**A** 網谷商工水産課長 弁当や日用品を電話で注文して配達してもらうサービスや、お店で購入して自宅へ配達してもらうサービスを行っているスーパーなどがある。高齢者だけでなく一般の方でも利用できるサービスとなっており、無料で行っている。これらの利便性が高いた

め移動販売は考えていない。  
**Q** コミュニティバスの山のコースでは遠回りをしていないと感じ、あまり使わないという人もいる。山のほうなど交通が不便な地域で、デマンド型乗合タクシーを検討してはどうか。

**A** 黒川生活環境課長 デマンド型乗合タクシーは自宅と目的地を効率的に移動でき、利用者にとって一定のメリットはあると考える。しかしコミュニティバスに比べて利用料金を高く設定せざるを得ない、予約という仕組みが高齢者になじむかどうかなど問題もあるため、市では導入について考えていない。

## 委員会

### 12月定例会の委員会の

審査から

12月定例会の各委員会では、付託された議案について慎重に審査が行われました。主な項目等は次のとおりです。

#### 総務文教委員会

審査議案は6議案であり、議案は原案のとおり可決しました。

▼議案第77号 平成27年度滑川市一般会計補正予算（第4号）

▼議案第79号 滑川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定について

▼議案第81号 滑川市の議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

▼議案第82号 滑川市税条例等の一部を改正する条例の制定について

▼議案第83号 不動産の取得について

▼議案第84号 滑川市民交流プラザの指定管理者の指定について

#### 民生環境委員会

審査議案は2議案であり、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

▼議案第77号 平成27年度滑川市一般

会計補正予算（第4号）

▼議案第78号 平成27年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

#### 産業建設委員会

審査議案は2議案であり、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

▼議案第77号 平成27年度滑川市一般会計補正予算（第4号）

▼議案第80号 滑川市空家等対策の推進に関する条例の制定について

#### 決算特別委員会

審査議案は9議案であり、議案はいずれも原案のとおり認定または可決しました。

▼議案第65号 平成26年度滑川市一般会計歳入歳出決算認定について

▼議案第66号 平成26年度滑川市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

▼議案第67号 平成26年度滑川市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について

▼議案第68号 平成26年度滑川市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

▼議案第69号 平成26年度滑川市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

▼議案第70号 平成26年度滑川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

▼議案第71号 平成26年度滑川市工業

団地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について

▼議案第72号 平成26年度滑川市水道事業会計決算認定について

◆議案第73号 平成26年度滑川市水道事業会計未処分利益剰余金の処分に ついて

なお、今後改善を求める事項については、次のとおりです。

【歳入】

- 1 市税等徴収対策室を有効に活用され、税や使用料、家賃などの収納率向上対策が図られていることから、その努力に敬意を表するが、口座振替の促進や連帯保証人制度を効果的に活用するなど、さらなる収納率の向上を図られたい。特に、悪質な案件については、預貯金はもちろんのこと、生命保険、給与、動産、不動産などの差押えなどの法的措置を含めて引き続き厳正に対処されたい。
- 2 市税（住民税・固定資産税等）、国民健康保険税、介護保険料、上下水道料、市営住宅・定住促進住宅家賃等については、不納欠損とならぬよう、滞納未然に引き続き努めるとともに、滞納額が小さなうちから早期徴収対応に努められたい。
- 3 起債残高が増加傾向にあるので、滑川市健全な財政に関する条例に基づき、公債費負担比率などの財政指標を念頭において、中・長期的な財政運営に努められたい。
- 4 軽自動車税の税制改正の周知の徹底に努められたい。

【歳出】

- 1 全般的に多額の不用額が発生しているが、予算要求時において前年度の不用額の内容を検証すること。また、工事費の算出においては担当部署等との協議を厳重に行うなど、新年度予算に反映されたい。
- 2 愛市購買の観点から、全庁及び関係機関の各種物品等の購入及び工事等の発注にあたっては、地元業者を最優先されたい。
- 3 公共施設の維持管理には多額の費用が必要であることから、委員会を設置し検討されているところであるが、議会より提出された提言書の内容を含め、そのあり方について早急に検討を進められたい。
- 4 庁用車（リース車両・買い取り車両）の維持管理については、整備費用、修繕費用の把握を行うとともに、コスト削減と車両管理の徹底に努められたい。
- 5 安全なまちづくり推進センター事業補助金をはじめとした種々の事業補助金に関しては、補助金の使途が事業目的にかなっていないものであるか精査の上、適正な運用がされるよう指導されたい。
- 6 職員1名あたり1台のパソコンが充当されていることから、全庁において紙による出力の必要性を再確認して、データで保管できるものはデータに切り替えをして、資源並びに保管スペースの削減に努められたい。
- 7 市民サービスメニューにあって、予算を計上しているものの利用実績

- が十分でないものが見受けられる。広報やホームページでの告知だけではなく、あらゆるPRの方策を検討されるとともに、市民と接する職員自身が内容を熟知して、周知と利用が促進されるよう努められたい。
- 8 がんなどの病気の早期発見・治療のため、特定健診やがん検診等の受診率向上についてPRにつとめ、引き続き努力をされたい。
- 9 コミュニティバスについて、利用者の増加・利便性の向上を図るために、通院、買い物、通勤や通学などに、ダイヤの改正に対応されたい。
- 10 生活保護費、扶助費について、対象者の審査を適正に実施されたい。また、自立を目指す就労支援等に努力されたい。
- 11 学校給食の地元食材の採用を推進し、地産地消を増やすためにも、農業の6次産業化を推進するなど農業の振興に努められたい。
- 12 定住促進住宅の入居率が購入検討当時の計画と比較して、大きなかい離がみられる。今後の入居率の向上について対応を検討されたい。
- 13 小中学校の備品・学校図書等の充実に向け、計上している予算を効果的に活用し、学校側のニーズをしっかり聞き取りした上で、引き続き努められたい。
- 14 土曜授業については、郷土愛を育む一環として、滑川の自然に触れ合う課外授業や農作業体験など、実のある土曜授業に努められたい。
- 15 就学援助について、保護者への制

度の周知を図り、必要な援助が適切に受けられるよう努められたい。

- 16 立山黒部ジオパークが日本ジオパークとして認定され、また富山湾が世界で最も美しい湾クラブに加盟したことからも、これまで以上に文化・伝統・郷土芸能を伝承するため、保存会等の育成や活性化に支援されることともに、小中学校のふるさと教育にも活用されたい。
- 17 子ども図書館について、児童館や子育て支援センターとの業務区分などを明確にした、利用のあり方を検討されたい。
- 18 滑川市体育協会が指定管理者として各種委託事業を行っているが、スポーツ課との関係も含め本来の趣旨に基づいて業務がなされているか検討されたい。

**並行在来線等問題検討  
特別委員会行政視察**  
(9月28日～29日)

**◆しなの鉄道株式会社**  
(しなの鉄道各駅での窓口業務の運営体制について・観光列車「ろくもん」の運営等について)

◎しなの鉄道株式会社は、JR東日本から経営分離された在来線の維持・発展のため、長野県、沿線市町、経済団体の出資により、第3セクターとして設立された。平成26年に観光

列車「ろくもん」の運行を開始し、鉄道沿線地域の魅力あふれる列車として注目されている。

窓口業務の運営体制は、各駅の運行ダイヤの関係や窓口時間外の業務もあり、全駅統一の営業時間とすることは難しい。

観光列車「ろくもん」は、内装に長野県産の木材を使用し、改造費用に県の補助金を活用した。また、沿線地域との連携を図り、財政支援を得るとともに、列車を活用したおもてなしの体制を整えた。

### ◆長野県小諸市

（「小諸駅」の観光面での利活用について）

◎北陸新幹線を利用した観光客増加を目的として、しなの鉄道の増便事業を展開。費用は他の自治体と共同して負担している。また、観光案内所を駅舎内へ再移転することも検討している。

「ろくもん」運行開始当初は、小諸駅にて「センゴク甲冑隊による殺陣」等のおもてなしを行っていたが、恒常的にイベントを催すことは難しい。小諸駅の利活用だけでなく、目玉となる新たな土産品の開発に取り組み、市のPRをすることが今後の課題としている。

## 公共施設のあり方検討 特別委員会行政視察

（10月1日～2日）

### ◆滋賀県日野町

（滋賀農業公園ブルームの丘の指定管理者制度について）

◎日野町は滋賀農業公園ブルームの丘を日野町と民間主導の第3セクターにて約53億円の費用を負担して整備し、民間事業者が指定管理者として施設の運営を請け負っている。

指定管理者制度については、指定管理料を支払わない契約により、事業者の事業意欲の喚起、事業不振時の追加資金の投下リスクの回避に役立っている一方で、事業が好調に推移した際に得られるはずであった利益の放棄という一面もあることから、指定管理者制度の運用にあたっては、精緻な事業見通しに基づく契約を行うことが重要であると考えられる。

### ◆京都府長岡京市

（公共施設マネジメント基本指針について）

◎長岡京市では、平成19年度には公共施設検討会議を立ち上げ、公共施設のあり方について検討を行い、平成25年に「公共施設のマネジメント基本指針」を策定し、基本的考え方・課題・今後の対応策等をまとめた。本指針の成果として、小中学校の耐震補強工事の完了、PFI手法に

よる小学校の空調設備導入、市立小学校と民間保育所の合築等が挙げられる。

今後の取り組みについては、国から求められている公共施設等管理計画の策定、個別施設の方針策定、適正な総面積の検討に基づく施設の統廃合の検討等を予定している。

### ◆京都府長岡京市

（カフェエポカの指定管理者制度について）

◎カフェエポカはJR長岡京駅西口の再開発事業によって整備された複合施設にある喫茶コーナーであり、特定非営利活動法人乙訓障害者事業協会が指定管理者として運営を行っている。現在同施設では同法人職員、障害者、健常者が事業に従事し、喫茶・軽食を提供し、地域に根ざした営業を行っている。



## 議会放送と 録画放送等のご案内



市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ24チャンネルで放送及び録画放送を実施しております。

次回の市議会定例会の本会議の放送は、3月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。

なお、定例会の日程及び放送時間等については、市広報（3月号）・ケーブルテレビ等を通じてご案内します。

## 議会報編集委員会から

「市議会だより」について、皆様のご意見をお寄せください。

市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。

詳しくは、事務局までご連絡ください。  
電話 475-2111（内線 371）

### 【議会報編集委員】

谷川伸治委員長 原 明副委員長 青山幸生委員  
角川真人委員 開田晃江委員 中川 勲委員

## 12月定例会での要望書について

### 件名及び提出者

### 処理結果

- ① 要望書 (12件)
- 1 陸砂利採取についての意見書 ……………全議員へ参考配付  
滑川商工会議所
  - 2 宇宙船地球号を守る為の陳情・地球社会建設決議陳情書 ……………全議員へ参考配付  
荒木 實
  - 3 タラソピアの存続に関する要望書 ……………全議員へ参考配付  
タラソピア愛好会 代表 野 徳 賢 司
  - 4 陸砂利採取の規制を求める要望書 ……………全議員へ参考配付  
滑川市西加積地区自治会連合会 会長 澤 田 隆 之
  - 5 要望書 (公共施設等における木材の利用促進について) ……………全議員へ参考配付  
富山県木材組合連合会 会長 西 村 亮 彦 外3団体
  - 6 タラソピアの存続に関する要望書 ……………全議員へ参考配付  
タラソピア愛好会 代表 野 徳 賢 司
  - 7 沖縄の米軍普天間飛行場の代替施設建設の早期実現、  
沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書 ……………全議員へ参考配付  
名護市議会議員 宮 城 安 秀 外10名
  - 8 陸砂利採取の規制を求める要望書 ……………全議員へ参考配付  
滑川市北加積地区自治会連合会 会長 石 坂 求
  - 9 陸砂利採取の規制を求める要望書 ……………全議員へ参考配付  
滑川市浜加積地区自治会連合会 会長 山 内 勇 貴 夫
  - 10 要望書 (平成28年度滑川市行政施策に対する要望について) ……………全議員へ参考配付  
滑川商工会議所 会頭 斉 藤 慎 一
  - 11 要望書 (一般廃棄物処理業務委託について安定かつ恒常的な適正契約締結について等) ……全議員へ参考配付  
(一社) 日本環境保全協会 会長 宇田川 育 男 外2団体
  - 12 要望書 (浄化槽の信頼向上と安心して使える対策について等) ……………全議員へ参考配付  
富山県環境保全協同組合 理事長 上 田 勝 朗 外1団体

## 12月定例会での本会議の結果について

### 議案内容等

### 採決結果

- ◎議案第61号 (平成27年9月定例会継続審査) ……………修正案・原案とも否決 (賛成少数)  
滑川市砂利採取業の規制等に関する条例の制定について  
賛成者=青山・角川・尾崎・水野・古沢・開田  
反対者=竹原・谷川・高木・原・中島・浦田・中川・高橋
- ◎議案第65号～議案第73号 ……………原案認定・可決 (賛成全員)  
平成26年度滑川市一般会計歳入歳出決算認定について 外8件
- ◎議案第77号～議案第84号 ……………原案可決 (賛成全員)  
平成27年度滑川市一般会計補正予算 (第4号) 外7件
- ◎請願第1号 (平成27年9月定例会継続審査) ……………趣旨採択 (賛成多数)  
賛成者=青山・角川・尾崎・水野・原・中島・古沢・開田  
反対者=竹原・谷川・高木・浦田・中川・高橋
- ◎請願第2号 (平成27年9月定例会継続審査) ……………採 択 (賛成多数)  
賛成者=竹原・谷川・高木・原・中島・浦田・中川・高橋  
反対者=青山・角川・尾崎・水野・古沢・開田
- ◎陳情第1号 (平成27年9月定例会継続審査) 陸砂利採取の規制を求める陳情書 ……………趣旨採択 (賛成多数)  
賛成者=青山・角川・尾崎・水野・原・中島・古沢・開田・中川・高橋  
反対者=竹原・谷川・高木・浦田
- ◎議案第85号 滑川市監査委員の選任について ……………原案同意 (賛成全員)
- ◎議案第86号 滑川市固定資産評価審査委員会の委員の選任について ……………原案同意 (賛成全員)